

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	創業・承継支援強化事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	
		実施期間	H27～	E-mail	keieishien @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・創業支援拠点「信州スタートアップステーション」や「信州スタートアップ・承継支援ファンド」をはじめとして、様々な支援機関による支援が充実する中で、「信州型スタートアップ・エコシステム」の構築が進んだ。  
 ・今後は、同エコシステムが有効に活用されるよう県内各地における連携体制の充実等を行っていく必要がある。

### 2 事業目的

県内各地における支援機関同士の連携促進や情報発信の強化等を通して信州型スタートアップ・エコシステムの定着を図り、県内経済を担う次世代産業の創出を目指していく。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①スタートアップ創出のための支援体制の充実**  
 ・県内経済を担う次世代産業を創出するため、中小企業診断士や公認会計士の資格を持った専門コーディネーターが常駐する「信州スタートアップステーション」を運営  
 <主な起業家サポートメニュー>  
 ・創業相談窓口、創業セミナー、ワークショップ ・アクセラレーションプログラム ・信州ベンチャーサミット、コンテスト  
 ・経営資源引継ぎ型創業支援 ・ファンドサポート事業 ・女性起業家支援  
 ・地域版創業応援プラットフォーム会議を開催し、女性起業家育成やアントレプレナーシップ教育等を含めた地域の起業家に対するきめ細かな支援を行う。
- ②ソーシャル・ビジネスの創業促進**  
 ・地域課題解決に資する創業を促進するために、創業に係る経費の補助や伴走支援を行う。

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	件	22	49	↗	70	↗	50	達成	信州スタートアップステーションの年間相談者数を前年度比3割増を目指すこととし、相談者の15%の創業を見込む。	
②	創業支援金を活用した創業件数	件	26	21	↘	23	↗	30	未達成	例年の書類審査通過件数が40件程度であり、それに対する採択率を、事業計画作成支援を強化し約50%から75%に引き上げる。 ※R5年度当初予算案のシートに記載したR3年度実績が誤っていたため修正しました（修正前：22、修正後：26）	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★会社開業率	%	2021 (R3)	2.9	2022 (R4)	2.9	2023 (R5)	3.1	2027 (R9)	5.0

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	116,742	△ 14,840	101,902	35,901	93,246	2.1
R4年度	0	108,085	△ 21,766	86,319	32,154	78,771	2.1
R3年度	0	102,916	△ 14,869	88,047	44,839	76,281	2.1

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	創業・承継支援強化事業費		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課		

## 7 主な取組実績と成果

<p><b>①スタートアップ創出のための支援体制の充実</b></p> <p>創業前から創業後5年程度のもを主な対象とし、相談（329人が利用し、延べ638件）、セミナー（20回518名参加）、ワークショップ（4回118名参加）、アクセラレーションプログラム（6社支援）により、起業の機運醸成及びビジネスアイデアブラッシュアップ等を支援し、創業に至った件数は70件となった。</p> <p>また、令和4年4月に設立した「信州スタートアップ・事業承継ファンド」から投資実行（7社）がされ、対象企業へ販路開拓等の支援を実施。令和5年度から開始した女性起業家支援では、地域での起業コミュニティ支援・SNS及びポータルサイトでの情報発信を行い、女性起業相談窓口を設けたことで女性からの起業相談件数（150人が利用し、延べ292件）が増加（前年比+84.8%）し、30件が創業した。※女性起業支援の実績値については上記再掲</p> <p>起業のすそ野が広がり、地域経済の活性化、雇用の創出が期待され、開業率も順位を上げてきているところである。</p>
<p><b>②ソーシャル・ビジネスの創業促進</b></p> <p>支援金の受付・説明会の実施をするだけでなく、伴走支援員を2名配置し事前相談等のきめ細かいサポートを行い、令和5年度は申請件数77件、書類審査選考通過件数34件、採択23件となった。</p> <p>過疎地域対策や買い物弱者支援、社会福祉などの多様な社会課題解決につながった成功事例も出てきている。</p>

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
2020年から設置してきた信州スタートアップステーションが県内の中核的な創業支援拠点として認知が定着しつつあり、取り組みの成果として見え始めてきたところである。							
指標②	創業支援金を活用した創業件数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
書類審査通過件数は同水準であり、採択率が68%と増加したため、創業件数は増加したものの採択率が伸びず、未達成となった。							

## 9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州スタートアップステーションが県内の創業中核拠点として、定着しつつあるものの、金融機関や支援機関との連携体制強化や女性起業家支援により、更に創業のすそ野を拡大する必要がある。</li> <li>・創業支援金について、募集数及び採択率向上に向けた取り組みを実施する必要がある。</li> </ul>
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州スタートアップステーションで女性起業家相談窓口の運営、ポータルサイト・SNS等での情報発信、地域コミュニティ連携を行うことで、引き続き創業の裾野拡大を図る。信州SSファンドや信州創業応援プラットフォーム会議を中心に金融機関や支援機関との連携を強化する。</li> <li>・創業支援金に係る個別相談会の充実及び信州スタートアップステーションとの連携により、募集数及び採択率向上を図る。</li> </ul>

事業名	<b>創業・承継支援強化事業費</b>	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課
-----	---------------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>スタートアップ支援事業費</b>		35,714 千円	40,870 千円	51,359 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州スタートアップステーション運営事業	委託	従来の信州スタートアップステーションの創業支援機能（相談窓口、セミナー等）に加えて、女性起業家向けの支援（コミュニティ作り、相談窓口等）を充実 相談対応件数638件（うち女性相談件数45.8%）		
2	創業応援プラットフォーム事業	直接	従来実施してきた全県版創業応援プラットフォーム会議に加え、地域の起業家の掘り起こしや女性起業家支援等を行う地域版創業応援プラットフォーム会議を開催 全県版会議回数 1回 地域版会議回数 1回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	<b>地域課題解決型創業支援事業費</b>		40,567 千円	37,901 千円	41,887 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域課題解決型創業支援事業補助金（ソーシャル・ビジネス創業支援金）	補助金	県内の地域課題を社会的事業で解決を図る者の創業に要する経費を補助するとともに、伴走支援を実施 補助件数 23件 補助総額35,705,096円		